公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会

平成２８年度定時総会

　日時　　平成２８年５月８日　１０時から１２時３０分

　　会場　　茨城県総合福祉会館４階　大研修室

　出席者　　理事　９名中９名を含む４４名

　委任状　　９４通

　議長　　箭内和雄（水戸支部）　　長谷川賢次（高萩支部）

　議事録作成者　　村上守（総務部長）

　議事録署名人　　狩野平左衛門岳也（霞ヶ浦支部）　　北川裕基（稲敷支部）

　　　　第１号議案　　平成２７年度活動を含む事業報告の承認の件

　諏訪光英（古河支部）より、１１月に古河支部が、長年治療奉仕を行っていることが評価され、市社会福祉協議会会長より、感謝状を授与されたとの報告があった。

　　　　第２号議案　　平成２７年度一般会計　収支決算と監事による監査報告の承認の件

　加倉井弘（水戸支部）より、大会等積立金の取り崩しが５０万円とあるが、これを来年からどうするのか、執行部の意見を伺いたいとの質問があった。

　仲澤会長より、会費の値上げについて、議題に上程しているとの発言があった。

　平成２７年度事業報告並びに収支決算報告は、原案通り満場一致で承認された。

　　　　第５号議案　　定款変更の件　（１４条　４０条）

　村山一人（土浦支部）より、予算について年度末に理事会において決議するとのことだが、県の担当者の異論はないのか。今回には代議員制度があると思うが、代議員会で予算を決議するという考えはなかったのかとの質問があった。

　伊藤組織強化部長より、県より、予算が立たないまま新年度に入ってはいけないとの指導があり、変更した次第である。代議員制度については、公益に移行した際に廃止をしているとの回答があった。

　定款変更（１４条・４０条）については、原案通りで満場一致で承認された。

　　　　第３号議案　　平成２８年度活動を含む事業計画（案）の承認の件

　仲澤会長より、東洋療法推進大会、関東校閲地区協議会への多くの会員の参加協力を願いしたいとの発言があった。

　　　　第４号議案　　平成２８年度一般会計収支予算（案）承認の件

　諏訪光英（古河支部）より、関東甲越協議会の参加料はいくらぐらいの予算を考えているのかとの質問があった。

　仲澤会長より、１００名参加を前提に、２万円という予算を組んでいるとの回答があった。

　鈴木直樹（日立支部）より、現在事務職員は１人だが、今後増やす方向で考えているのかとの質問があった。

　仲澤会長より、現在求人を出しており５月初旬にでももう１名増やして事業の効率化を図る。公益になって仕事も多く、協同組合の仕事もあるため、月・水・金の出社では間に合わず、現在火・木も出社してもらっている中でこのような金額が発生してしまった。これからは通常の月・水・金の二人体制で、予算の範囲の中で納まるように治めるように努力するとの回答があった。

　鈴木直樹氏より、給与手当３６万しか予算をとっていないがこれで大丈夫かとの質問があった。

　石川財務部長より、事務で不慣れな点があると若干オーバーすることもあるが、二人体制で通常通りの勤務ができればその範囲内でおさまるように計上しているとの回答があった。

　狩野平左衛門岳也（霞ヶ浦支部）より、事業計画で、東洋療法推進大会が９月２３・２４日となっているが、２２・２３日ではないのかとの確認があった。

　事業計画を、９月２２・２３日に修正・変更。

　平成２８年度事業計画並びに予算案は、原案通り満場一致で承認された。

　　　　第６号議案　　会費値上げの件

　仲澤会長より、ここ１０年以上会費の値上げをしていない。１０年前は３５０名を超える会員がいたが、現在１９０名前後という状況になっているが、かかる経費は変わらない。大会等積立金を崩しながら乗り切ってきたが前年度は５０万を取り崩さざるを得なくなってしまった。このままで行くとあと３年しか持たない。会員減少等のリスクがあるのは存じているが会費の値上げを提案したい。来年度、２千円の値上げを考えているとの説明があった。

　石川財務部長より、前回の会費の値上げは９年前、当時県から２８万７千円ほど出ていたものが廃止されるということで値上げした。当時の会員が２８７名、４月３０日現在で１８７名となっている。執行部では、会費を上げると更に会員の減少につながるとのことで、できるだけ回避の値上げは先送りにして、理事の人数を減らしたり、役員報酬を減らしたりして努力して来たが、現在、積立金が１７０万余になり、あと２・３年で積立金も危うくなる状況で、今回値上げを提案するとの説明があった。

　赤坂理事より、全鍼師会では、免許を取って５年以内という準会員制度とともに、高齢者の準会員制度もある。高齢者の準会員制度もうまく活用してはどうかとの発言があった。

　加倉井弘（水戸支部）より、会費を値上げした場合の、また値上げして会員が減少した場合の試算を提示して欲しいとの発言があった。

　石川財務部長より、ほぼ年間１０名ほどの会員減少している。値上げした場合の予測は立てにくい。単純計算でも２千円値上げしても黒字にはならない。例えば３千円上げれば書面上の計算では黒字になるが、それだけの負担をしいてしまうと会員の減少につながる可能性もあるので、理事会で検討させていただいた結果２千円が妥当ではないかとの結果になった。申し訳ないが、詳細な資産は出ていない状況であるとの説明があった。

　根本博行（日立支部）より、値上げして会員が減ると最悪の場合会がつぶれるかもしれない。このまま値上げせずに継続はできず会はつぶれる。値上げして努力すべきとの発言があった。

　豊島宏（土浦支部）より、土浦支部では７０歳以上の会員が半数を超えており、値上げということになると退会する会員も多いのではないか。会を存続していくためには値上げもやむを得ないのではないか。運営上切りつめられる部分は切りつめて、そのうえで会費の値上げを考えて欲しいとの発言があった。

　大野茂（竜ヶ崎支部）より、研修会の弁当を出すのはやめて、出席者が自分で用意するようにしたらどうかとの意見があった。

　海老原長臣（坂東支部）より、仕事も減少してきており、高齢者には値上げはきつい。会員の減少も多くなると予想する。できれば会費の値上げは反対との意見があった。

　村山一人（土浦支部）より、会費値上げはやむを得ないことだと思う。はっきり金額を明示して欲しい。試算を概算でよいので示してほしい。特別積立金は大会等積立金と共催部の残金があったが、現在の大会等積立金は共催部運営の資金にもなるものと理解しているがどうか。茨師会での高齢会員制度の扱いはどうなっているのかとの質問があった。

　仲澤会長より、全鍼師会の会費が上がらないという前提で、正会員２万１千円、準会員１万７千円。全鍼師会の会費の値上げがあれば、それに沿ったものを出す。

　石川財務部長より、積立資産については、公益になる際に共催の積み立てとして残すことができないため、大会等積立金と共催の資産を一本化している。高齢会員については、７５歳以上で在籍期間２０年以上の会員様が準会員に該当すると記憶している。改めて詳細を調べるとの回答があった。

　赤坂理事より、７５歳以上で２０年以上の在籍者は、茨城の場合引いているのかとの質問があった。

　石川財務部長より、準会員制度は申請せいなので、本人が申請しなければ原則正会員扱いとなるとの回答があった。

　諏訪光英（古河支部）より、出費を抑える意味で、研修会の弁当は栃木県師会では希望者に実費で出すというようにしているので、そのようにしたらよいのではないかとの意見があった。

　仲澤会長より、理事会で決議するとの回答があった。

　　狩野平左衛門岳也（霞ヶ浦支部）より、執行部としては値上げということで上程されたが、議論が足りないと思う。会員を増強する動きが聞こえてこない。固定費を下げない限り会費を値上げしても無理だと思う。今回少し予算は減っているが、値上げをしても収支が間に合わないという現状をかんがみれば、研修会を減らすとか身内でやるとか、会費を上げるのには会としてこのような努力をします、今後はこのような目標を立ててやりますので会費値上げにご理解くださいというような提案の仕方じゃないと、問題が出てくるのではないかと考えるとの意見があった。

　石川財務部長より、事務所費は２年前まで減少傾向にあったが、昨年から少しずつ引き上げられているので２万円余計に計上している。学術研修費や全鍼師会研修費は、予算の段階でも公益比率５０パーセントを確保するにあたって、公益目的に関わる費用として載せないと予算の段階でも５０パーセントをクリアーできなくなってしまう。当然経費削減の方向でやらせていただきますが、予算書上は余計に計上させていただいているとの回答があった。

　根本博行（日立支部）より、決算・予算書を見ればわかるが、これ以上切りつめられないでしょう。上げましょうとの意見があった。

　豊島宏（土浦支部）より、執行部はいろいろと考えて２千円の値上げを打ち出したのだと思う。値上げしてくださいとの発言があった。

　仲澤会長より、くれぐれもお願いしたいのですが、準会員４千円割引という恩恵が各支部の会費の段階で受けられるように支部ごとにご協議いただきたい。全鍼師会が会員を減らしたくないという趣旨で４千円割引したのだからこの趣旨を十分ご理解のうえ支部に持ち帰ってご検討くださいとの発言があった。

　会費値上げの件について、３８名の賛成により、原案通り承認された。

　　　　第７号議案　　災害時における対応の件

　仲澤会長より説明があった。

　災害時における対応の件については、満場一致で承認された。

　　　　第８号議案　　その他

　仲澤会長より、熊本を中心とする大地震への災害見舞金の募金の依頼があった。

　議事終了

　議事録署名人　　狩野平左衛門岳也

　議事録署名人　　北川裕基